［果樹部門］ 農業研究所ホームページへ

18. ９月中旬に成熟するナシ新品種「岡山PER1号」の育成

［要約］

芳香があり、食味が優れ、果肉障害の発生が少なく、栽培が容易な９月中旬に成熟するナシ新品種「岡山PER１号」を育成した。

［担当］ 岡山県農林水産総合センター農業研究所　果樹研究室

［連絡先］電話086-955-0276

［分類］ 技術

［背景・ねらい］

岡山県のナシの推奨中生品種である、「あきづき」は果実品質が優れるが、果肉障害が発生することがある。また、腋花芽の着生が非常に少なく、結果枝の確保が難しいことが問題である。そこで、生理障害が少なく、品質がよく、栽培の容易なナシ新品種を育成する。

［成果の内容・特徴］

１．岡山県立農業試験場北部支場（現　閉鎖）で、1996年に晩生の「新高」と中生の「豊水」を交配し、得られた交雑実生個体から育成した樹から選抜し、2007年度に「岡山ナシ２号」として２次選抜を開始して育成した品種である。

２．発芽や展葉は対照品種である「あきづき」、「豊水」より遅く、開花はほぼ同時期かやや遅い（表１）。収穫は「あきづき」とほぼ同時期の９月12日前後（県南部）であり「豊水」より４日程度遅い（表２）。

３．果実重は「あきづき」と同程度かやや小さく、「豊水」より大きい（表２）。

４．糖度は対照品種よりやや低いが、酸味は少ない（表２）。また、親品種の「新高」に似た強い芳香がある。

５．「あきづき」で問題となる果肉のコルク状褐変は、ほとんど認められない。また、「豊水」で問題となるみつ症の発生はほとんど認められない（表２）。

６．腋花芽の着生が少ない「あきづき」と比べて発育枝上の腋花芽の着生が多く、結果枝の確保が容易である（表３）。

［成果の活用面・留意点］

１．登録後５年間は岡山県内への利用許諾とし、その後、他県への利用許諾について関係部署と協議する。

２．花粉が少ないため、人工受粉用の花粉源としては適さない。

３．果実の外観は親品種である「豊水」に近く、表面に筋が入ることが多く、ややいびつな印象を受ける（図１）。

４．本品種は「岡山ＰＥＲ１号」として品種登録(2016年6月28日)され、「晴香」として商標登録(2017年9月15日)された。「追記2018年9月」

［具体的データ］

表1 「岡山PER1号」及び対照品種の発芽、展葉及び開花期（2012～2015 年の平均）

品種名	発芽日	展葉日	開花期		
			開花始日	満開日	開花終日
岡山PER1号	3月28日	4月9日	4月12日	4月13日	4月20日
あきづき	3月23日	4月7日	4月11日	4月14日	4月20日
豊水	3月22日	4月6日	4月10日	4月12日	4月19日

図１　「岡山 PER1 号」の果実の外観

表2 「岡山PER1号」及び対照品種の果実特性（2012 ～2015 年の平均値）

品種名	収穫日	果実重 (g)	糖度 (° Brix)	pH	果皮色[z] (c.c.)	地色[z] (c.c.)	果肉硬度[y] (lb)	裂皮[x] (0～4)	みつ症[x] (0～4)	コルク状[w] (箇所/果実)
岡山PER1号	9月12日	541	12.5	4.9	4.8	4.1	4.6	0	0.1	0.0
あきづき	9月11日	567	13.6	4.8	4.7	3.7	4.9	0	0.0	0.7
豊水	9月8日	460	13.5	4.7	4.4	4.2	4.6	0	1.0	0.0

[z]果皮色は農水省カラーチャート（豊水用）、地色はニホンナシ用地色判定用カラーチャートを用いた

[y]バローフ社製フルーツテスターによる計測値(8mm針頭)

[x]達観により判定（0：無、1：微、2：少、3：中、4：多）

[w]果梗部から果頂部方向に約1cmの厚さで輪切りにし、切断面に見えたコルク状褐変の個数

表3 「岡山PER1号」及び対照品種の休眠期における発育枝上の腋花芽形成（2014年）

品種名	新梢長 (cm)	基部径 (mm)	腋花芽数 (個/枝)	全芽数 (個/枝)	腋花芽率 (%)	枝長さ10cm当たりの腋花芽数(個)
岡山PER1号	115.5	13.9	17.5 A	21.6	81.6 A	1.52 A
あきづき	107.9	14.6	4.6 B	27.8	17.6 B	0.47 B
豊水	118.4	13.7	17.1 A	23.1	74.2 A	1.45 A

[z]数値右の異なる符号間には大文字は1％水準で有意差あり（Tukey法）

［その他］

研究課題名：ナシ新品種の育成

予算区分：県単

研究期間：1973～2015年度

研究担当者：藤井雄一郎、樋野友之、安井淑彦

関連情報等：藤井ら（2016）、品種登録出願　第30979号